

付 調査票

## 東日本大震災からの復興に関する男女共同参画の取組状況調査

内閣府では、復興庁の協力の下、みずほ情報総研株式会社に委嘱して、「東日本大震災からの復興に関する男女共同参画の取組状況調査」を実施することになりました。

この調査は、男女共同参画の視点から復興の現状と課題について把握し、今後の施策検討の基礎資料として活用させていただくとともに、結果を取りまとめ、被災自治体等の参考となるようホームページで公表する予定です。

業務ご多忙の折、誠に勝手なお願いで恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

### <ご記入にあたって>

1. 本アンケートは、特定被災地方公共団体（9県、178市町村）を対象に、①復興計画、②復興まちづくり、③被災者の生活、④東日本大震災時の対応、⑤男女共同参画の推進体制についてお聞きします。
2. ご回答は、首長または担当部局の方が回答してください。なお、一部局でご回答が難しい場合は、お手数ですが関係部局に照会の上、ご回答ください。
3. 回答方法は、あてはまる番号に○印をつけていただくもの、( )、四角内に具体的な内容を記入していただくものがあります。
4. ご回答いただきましたアンケート調査票につきましては、同封の返信用封筒（切手は必要ございません）にて、平成24年11月30日（金）までにご投函ください。
5. ご回答いただいた内容は、参考となる取組事例等について地方公共団体名をあげて整理することはありますが、その他の選択肢や数値の回答及びご意見等については、個々の回答内容がそのまま公表されることはなく統計的数値として取りまとめます。
6. アンケート調査票について、電子ファイル（マイクロソフト Word 形式）をご要望の方は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。  
→ chikako1.sunakawa@mizuho-ir.co.jp
7. 調査についてご不明な点がありましたら、下記の担当者までお問い合わせください。ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

#### 【調査実施機関・調査票の回答についての問合せ先・調査票返送先】

##### **MIZUHO** みずほ情報総研株式会社

社会経済コンサルティング部 担当：砂川・山岡・野中  
〒101-8443 東京都千代田区神田錦町 2-3 竹橋スクエアビル 8F  
Tel:03-5281-5276（月～金曜日、10時～17時）

#### 【調査委嘱元・調査の趣旨についての問合せ先】

内閣府男女共同参画局調査課 担当：土井・尾島  
〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
Tel:03-5253-2111（代表）（月～金曜日、10時～17時）

## ご回答について

回答者及び本件についての問合せ先（ご所属・ご連絡先）をご記入ください。

都道府県名		市町村名	
ご所属		ご担当者名	
電話番号		メールアドレス	

### I. 復興計画について

問1 貴自治体では東日本大震災に関する「復興計画（※）」を策定していますか。（○は1つ）

（※）「復興計画」とは、ここでは、復興に向けた道筋や計画期間内の具体的な取組を記載した計画のことをいいます。

1. 策定した ( )年( )月 名称( )	
2. 策定する予定( )年( )月 ごろ	→2ページの問3へ
3. 策定しない	→4ページの問11へ

※問2は、問1において「1. 策定した」と回答した方におうかがいします。

問2 国の「東日本大震災からの復興の基本方針」（東日本大震災復興対策本部決定）では、次の事項が明記されています。貴自治体の復興計画には、下記の視点に配慮した記載はありますか。当てはまる項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女共同参画の観点から、復興のあらゆる場・組織に、女性の参画を促進する</li> <li>2. 子ども・障害者等あらゆる人々が住みやすい共生社会を実現する</li> <li>3. 高齢者や子ども、女性、障害者などに配慮したコンパクトで公共交通を活用したまちづくりを進める</li> <li>4. （市町村の計画策定に対する人的支援、復興事業の担い手等）各種専門家の派遣やデータベース化等に当たっては、女性の参画に配慮する</li> <li>5. まちづくりにおいて、協議会等の構成が適正に行われるなど、女性、子ども・若者、高齢者、障害者、外国人等の意見が反映しやすい環境整備に努める</li> <li>6. 高齢者、子ども、女性、障害者等に配慮し、地域全体のまちづくりを進める中で、被災市町村の特性を踏まえ、安全な場所に集約化を進める</li> <li>7. 女性の悩み相談を実施する</li> <li>8. 若者・女性・高齢者・障害者を含む雇用機会を被災地域で確保する</li> <li>9. 女性の起業活動等の取組を支援するため、被災地におけるコミュニティビジネスの立ち上げの支援、農山漁村女性に対する食品加工や都市と農山漁村の交流ビジネス等の起業化の相談活動、経営ノウハウ習得のための研修等の取組を支援する</li> <li>10. 農業生産だけでなく、復興ツーリズムの推進や再生可能エネルギーの導入、福祉との連携といった様々な取組を組み合わせ、これに高齢者や女性等も参画することにより、地域の所得と雇用を創出していく</li> <li>11. 「東日本大震災復興対策本部」及び「現地対策本部」の事務局に、復興過程における男女共同参画を推進する体制を設けるものとする</li> <li>12. その他（→具体的に： )</li> <li>13. 特にない</li> </ol>
---

※問3は、問1において「1. 策定した」または「2. 策定する予定」と回答した方におうかがいします。

問3 復興計画の策定に向けた委員会等を設置しています（しました）か。（○は1つ）

1. 設置している(した)	2. 設置していない(しなかった)	→問5へ
---------------	-------------------	------

※問4は、問3において「1. 設置している（した）」と回答した方におうかがいします。

問4 復興計画の策定に向けた委員会等の男女別構成について記載してください（オブザーバーは除く）。分科会等、下部委員会がある場合には、そちらもそれぞれご記入ください。（※人数は「0人」の場合は「0」とご記入ください。）

また、女性委員が1人以上いる場合は、女性委員の選出区分を下枠内より選び、当てはまる項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

委員会等の名称	男性 (人)	女性 (人)	女性委員の選出区分（※） (○はいくつでも)							7. その他の 具体的内容
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	

（※）女性委員の選出区分



1. 指定した団体から選出された者（例：婦人会、商工会、社会福祉協議会等）
2. 医療・福祉・保育等の専門職（例：医師、看護師、保健師、助産師、保育士等）
3. 住んでいる地区から選出された者（例：地区代表等）
4. 公募により選出された者
5. 有識者として選出された者（例：研究者、企業経営者等）
6. 行政関係者
7. その他（→具体的内容を表内にご記入ください）

※問5は、問1において「1. 策定した」と回答した方におうかがいします。（問1で「2. 策定する予定」と回答された方は4ページの間11へお進みください。）

問5 復興計画の策定後に、復興計画を円滑に推進し、進捗状況を把握するための委員会等を設置していますか。（○は1つ）

1. 復興計画の策定に向けた委員会等（問4）と同一	→3ページの間7へ
2. 新たに設置した	
3. 設置していない	→3ページの間7へ

※問6は、問5において「2. 新たに設置した」と回答した方におうかがいします。

問6 復興計画策定後の進捗状況把握のための委員会等の男女別構成について記載してください（オブザーバーは除く）。分科会等、下部委員会がある場合には、そちらもそれぞれご記入ください。（※人数は「0人」の場合は「0」とご記入ください。）

また、女性委員が1人以上いる場合は、女性委員の選出区分を下枠内より選び、当てはまる項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

委員会等の名称	男性 (人)	女性 (人)	女性委員の選出区分（※） (○はいくつでも)							7. その他の 具体的内容
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	
			1	2	3	4	5	6	7	

（※）女性委員の選出区分



1. 指定した団体から選出された者（例：婦人会、商工会、社会福祉協議会等）
2. 医療・福祉・保育等の専門職（例：医師、看護師、保健師、助産師、保育士等）
3. 住んでいる地区から選出された者（例：地区代表等）
4. 公募により選出された者
5. 有識者として選出された者（例：研究者、企業経営者等）
6. 行政関係者
7. その他（→具体的内容を表内にご記入ください）

問7 復興計画の策定や推進に当たって、女性や、子ども・若者、高齢者、障害者、外国人等の意見を聴取するために、次のような配慮を行いましたか。（○はいくつでも。（ ）内については、具体的な方法や内容をご記入ください。）

1. 住民向けの説明会を開催した	
2. 住民の合意形成のためのワークショップを開催した	
3. 関係団体から個別にヒアリングを実施した	→4ページの問9へ
4. 世帯単位でなく個人単位でのアンケート調査を実施した	→4ページの問9へ
5. 意見募集（パブリック・コメント等）を実施した	→4ページの問9へ
6. その他（→具体的に： _____）	→4ページの問9へ
7. 特になし	→4ページの問9へ

※問8は、問7において「1. 住民向けの説明会を開催した」または「2. 住民の合意形成のためのワークショップを開催した」と回答した方におうかがいします。

問8 説明会やワークショップの開催に当たって、次のような配慮を行いましたか。（○はいくつでも。（ ）内については、具体的な内容をご記入ください。）

1. 託児をつけた	3. 外国語による広報を行った
2. 手話通訳をつけた	4. その他（→具体的に： _____）

問9 復興計画の策定や推進に当たって、庁内の男女共同参画担当部署と連携しましたか。(○はいくつでも。( )内については、具体的な内容をご記入ください。)

- 1. 男女共同参画担当部署を庁内の事務局の構成員とした
- 2. 男女共同参画担当部署に意見を照会した
- 3. 男女共同参画担当部署に意見を聴取すべき外部有識者の紹介を依頼した
- 4. その他(→具体的に: )
- 5. 男女共同参画担当部署とは連携しなかった

問10 復興計画の策定や推進に当たって、男女共同参画の視点を反映した取組や何かご意見等がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家(コンサルタント等)や団体(大学、企業、NPO等)と連携して実施した取組がありましたら、その詳細もご記入ください。

[記入例]

「復興計画策定に向けた委員会の委員選定に当たり、各地区からの代表として、女性を選出するように要請した」など。

## II. 復興まちづくりについて

問11 貴自治体では、東日本大震災からの復興に当たり、住民との合意形成が重要となる集団移転や区画整理、再開発事業等のまちづくり(以下「復興まちづくり」という。)に取り組んでいますか(取り組む予定ですか)。(○は1つ)

- 1. 取り組んでいる
- 2. 取り組む予定 →7ページの間20へ
- 3. 取り組んでいない(取り組む予定はない) →7ページの間20へ

※問12は、問11において「1. 取り組んでいる」と回答した方におうかがいします。

問12 復興まちづくりに当たって、行政として意思決定を行うための機関(委員会等)を設置しています(しました)か。(○は1つ)

- 1. 設置している(した)
- 2. 設置していない(しなかった) →5ページの間14へ

※問 13 は、問 12 において「1. 設置している（した）」と回答した方におうかがいします。

問 13 復興まちづくりに向けた行政として意思決定を行うための機関（委員会等）の男女別構成について記載してください（オブザーバーは除く）。（※人数は「0人」の場合は「0」とご記入ください。）

また、女性委員が1人以上いる場合は、女性委員の選出区分を下枠内より選び、当てはまる項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

名称	男性 (人)	女性 (人)	女性委員の選出区分（※） (○はいくつでも)							7. その他の 具体的内容
			1	2	3	4	5	6	7	

（※）女性委員の選出区分



1. 指定した団体から選出された者（例：婦人会、商工会、社会福祉協議会等）
2. 医療・福祉・保育等の専門職（例：医師、看護師、保健師、助産師、保育士等）
3. 住んでいる地区から選出された者（例：地区代表等）
4. 公募により選出された者
5. 有識者として選出された者（例：研究者、企業経営者等）
6. 行政関係者
7. その他（→具体的内容を表内にご記入ください）

問 14 貴自治体内に、復興まちづくりに当たって、住民同士が議論や検討を行う自主的なまちづくり組織（以下「まちづくり協議会」）が設立されていますか（されましたか）。（○は1つ）

1. 設立されている（された）
2. 設立されていない（されなかった） → 6 ページの問 16 へ

※問 15 は、問 14 において「1. 設立されている（された）」と回答した方におうかがいします。

問 15 住民によるまちづくり協議会の男女別構成について、おわかりになる範囲でご記入ください（オブザーバーは除く）。（※人数は「0人」の場合は「0」とご記入ください。）

名称	男性 (人)	女性 (人)

問 16 住民によるまちづくり協議会について、貴自治体では設立を働きかけていますか。(○は1つ。( )内については、具体的な内容をご記入ください。)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 働きかけを行っている                      |
| 2. 働きかけは行っていないが、今後、働きかけを行いたい       |
| 3. 働きかけを行っておらず、今後、働きかけを行うことも考えていない |
| 4. その他 (→具体的に: )                   |

問 17 復興まちづくりに当たって、女性や、子ども・若者、高齢者、障害者、外国人等の意見を聴取するために、次のような配慮を行っていますか。(○はいくつでも。( )内については、具体的な内容をご記入ください。)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 住民向けの説明会を開催した             |
| 2. 住民の合意形成のためのワークショップを開催した   |
| 3. 関係団体から個別にヒアリングを実施した       |
| 4. 世帯単位でなく個人単位でのアンケート調査を実施した |
| 5. 意見募集 (パブリック・コメント等) を実施した  |
| 6. その他 (→具体的に: )             |
| 7. 特になし                      |

問 18 復興まちづくりに当たって、庁内の男女共同参画担当部署と連携しましたか。(○はいくつでも。( )内については、具体的な内容をご記入ください。)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 男女共同参画担当部署を庁内の事務局の構成員とした         |
| 2. 男女共同参画担当部署に意見を照会した               |
| 3. 男女共同参画担当部署に意見を聴取すべき外部有識者の紹介を依頼した |
| 4. その他 (→具体的に: )                    |
| 5. 男女共同参画担当部署とは連携しなかった              |

問 19 復興まちづくりを進めるに当たって、男女共同参画の視点を反映した取組や何かご意見等がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家 (コンサルタント等) や団体 (大学、企業、NPO等) と連携して実施した取組がありましたら、その詳細もご記入ください。

[記入例]

「女性が働きやすく、ワーク・ライフ・バランスを実現しやすいまちづくりのため、外部のコンサルタントに依頼し、職住近接の都市計画とした」「公共施設等の建設に当たり、授乳室、ベビールーム等を設置するなど、子育て家庭に配慮した」「道路、公園、駐車場及び駐輪場等の整備に当たり、死角を作らないよう、犯罪の防止に配慮している」など。



### Ⅲ. 被災者の生活について

問 20 現在、仮設住宅やみなし仮設住宅に居住している住民がいますか。(〇はいくつでも)

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1. いる (他自治体にある仮設住宅等を含む)    |                |
| 2. 他自治体の住民が域内の仮設住宅等に居住している |                |
| 3. いない                     | → 8 ページの問 23 へ |

※問 21 は、問 20 において「1. いる (他自治体にある仮設住宅等を含む)」または「2. 他自治体の住民が域内の仮設住宅等に居住している」と回答した方におうかがいします。

問 21 これらの被災者に対して、どのような支援を行っていますか。「貴自治体の住民」と「他自治体からの避難者」の別に、実施している支援にすべて〇をつけてください (〇はいくつでも)。「⑥その他」に〇をつけた方は、具体的な内容をご記入ください。

	貴自治体の住民	他自治体からの避難者
①住民同士の交流の場の設置・運営	1	1
②生活上の不具合や不便を聞くための戸別訪問	2	2
③保健師等による巡回訪問 (保健指導等)	3	3
④悩み等を相談する窓口、専用電話等の設置	4	4
⑤広報紙等による定期的な情報提供	5	5
⑥その他 (→具体的に: )	6	6
⑦特にない →「貴自治体の住民」「他自治体からの避難者」両方〇の場合は 8 ページの問 23 へ	7	7

※問 22 は、問 21 において「貴自治体の住民」もしくは「他自治体からの避難者」で①～⑥に 1 つでも〇をつけた方におうかがいします。

問 22 上記の取組について、男女共同参画の視点を反映した取組がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家 (コンサルタント等) や団体 (大学、企業、NPO 等) と連携して実施した場合には、その詳細もご記入ください。その際、どこに居住している誰を対象とした取組かお書きください。

**【記入例】**

「仮設住宅の集会室において、仮設住宅に住む男性向けの料理教室、子どもの一時預かりサービス等を実施している」「仮設住宅の自治会結成時に、女性の役員就任を推奨した」「仮設住宅、借り上げ仮設住宅の居住者の安否確認等を行う支援員を雇用し、男女ペアで戸別訪問を行い、居住者の相談に応じている」「NPO 等と連携して、震災による女性の悩み、女性に対する暴力に関する相談事業を実施し、県外に避難している住民からの相談にも応じている」など。

問 23 震災によってひとり親家庭となった世帯への支援に関して、母子家庭と父子家庭とで課題となっていることに違いはありますか（〇は①～⑩についてそれぞれ1つずつ）。「⑩その他」に〇をつけた方は、具体的な内容をご記入ください。

	母子・父子 ともに同じ	母子家庭でより 課題が大きい	父子家庭でより 課題が大きい	いずれにも 課題はない
①行政からの支援が少ない	1	2	3	4
②民間団体からの支援が少ない	1	2	3	4
③経済的に困窮している	1	2	3	4
④親の就労先の確保が困難	1	2	3	4
⑤子どもの保育先の確保が困難	1	2	3	4
⑥子どもの就学が困難	1	2	3	4
⑦家事などの生活スキルが不足して いる	1	2	3	4
⑧相談できる窓口が少ない	1	2	3	4
⑨当事者同士の交流の機会が少ない	1	2	3	4
⑩その他（→具体的に： ）	1	2	3	4

問 24 震災によって母子家庭、もしくは父子家庭となった世帯が利用できる支援として、次のようなことを実施していますか（〇はいくつでも）。「⑤その他」に〇をつけた方は、具体的な内容をご記入ください。

	母子家庭 向け	父子家庭 向け
①ひとり親家庭への生活資金の貸付	1	1
②ひとり親家庭の親への就労支援	2	2
③ひとり親家庭の親の生活スキル向上のための講座（料理教室等）	3	3
④ひとり親家庭の交流の場の設置・運営	4	4
⑤その他（→具体的に： ）	5	5
⑥特になし	6	6

問 25 子育て支援について、男女共同参画の視点を反映した取組や何かご意見等がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家（コンサルタント等）や団体（大学、企業、NPO等）と連携して実施した取組がありましたら、その詳細もご記入ください。

<p>【記入例】 「子育て中の親の心理的負担を軽減するため、企業の支援により子どもの遊び場を設置した」「子育て支援NPOと協働し、民家を一部改造し、一時保育を行う託児施設を開設した」など。</p>

問 26 震災による就業に係る影響は、男性と女性で影響に違いがありますか。(○は①～⑧についてそれぞれ1つずつ)

	男女ともに 同じ	女性の方が 影響が大きい	男性の方が 影響が大きい	いずれにも 影響はない
①短期的なつなぎ雇用はあるが、長期的な安定雇用の場が少ない	1	2	3	4
②解雇や雇い止めの増加	1	2	3	4
③希望する職の求人が少ない	1	2	3	4
④人材需要に対する資格・スキル・ノウハウ等の不足	1	2	3	4
⑤世帯主の失業、死亡等により新たに働かなければならない	1	2	3	4
⑥失業給付、支援金等の現金給付による就業意欲が低下	1	2	3	4
⑦子どもの預け先（保育所、学童保育等）の不足により、就労が困難	1	2	3	4
⑧利用できる介護サービス等の不足により、就労が困難	1	2	3	4

問 27 産業・雇用について、震災による課題解決を目的として、新たに次のようなことを実施したり、従来からの取組を拡充したりしましたか。もしくは今後実施する予定ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。( )内については、具体的な内容をご記入ください。

なお、震災の影響に関わらず行っている取組は、ここでは対象外としてください。

	実施した	実施する 予定
①地域特性を活かした産業の創出	1	1
②事業者再建のための支援 (→具体的に： )	2	2
③国や県の事業の活用・周知（緊急雇用創出事業等）	3	3
④職業訓練に係る関係機関との連携強化（公共職業訓練、基金訓練、求職者支援訓練、民間教育訓練機関等）	4	4
⑤起業活動の支援 (→具体的に： )	5	5
⑥就業関連の各種情報の提供	6	6
⑦その他（→具体的に： )	7	7
⑧特にない →「実施した」「実施する予定」両方○の場合は 10 ページの問 29 へ	8	8

※問 28 は、問 27 において「実施した」もしくは「実施する予定」で①～⑦に 1 つでも○をつけた方におうかがいします。

問 28 上記の取組について、男女共同参画の視点を反映した取組がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家（コンサルタント等）や団体（大学、企業、NPO等）と連携して実施した場合には、その詳細もご記入ください。

[記入例]

「工場を誘致して、震災により失業した女性 30 名を雇用した」「市で独自に、女性を対象として、地域課題を解決するための社会的企業の起業支援や人材育成を行った」など。

#### IV. 東日本大震災時の対応について

問 29 東日本大震災について、庁内に対策本部を設置しましたか。（○は 1 つ）

1. 設置した

2. 設置していない

→11 ページの間 32 へ

※問 30 は、問 29 において「1. 設置した」と回答した方におうかがいします。

問 30 内閣府や復興庁では、震災対応に関して以下のような文書を発出しています。貴自治体における東日本大震災の対策本部では、これらの文書について把握していましたか。（○は①～⑤についてそれぞれ 1 つずつ）

※各文書については、右記の URL 参照。http://www.gender.go.jp/saigai.html

	把握していた	把握していない
① 「女性や子育てのニーズを踏まえた災害対応について（避難所等での生活に関する対応の依頼）」 （平成 23 年 3 月 16 日 内閣府男女共同参画局 事務連絡）	1	2
② 「男女共同参画の視点を踏まえた仮設住宅における災害対応について」 （平成 23 年 6 月 23 日 内閣府男女共同参画局 事務連絡）	1	2
③ 「復興の過程における多様な視点の反映について」 （平成 23 年 12 月 15 日 東日本大震災復興対策本部事務局・内閣府政策統括官（共生社会政策担当）・内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室・内閣府男女共同参画局 事務連絡）	1	2
④ 「復興の過程における男女共同参画の推進について」 （平成 24 年 6 月 19 日 復本第 688 号 復興大臣通知）	1	2
⑤ 「復興の過程における男女共同参画の推進について」 （平成 24 年 6 月 19 日 復興庁統括官付参事官（男女共同参画担当）事務連絡）	1	2

※問 31 は、問 29 において「1. 設置した」と回答した方におうかがいします。

問 31 内閣府や復興庁から発出された文書を把握していた方は、どのような経路で文書を知り、どのように対応したか、ご自由にお書きください。把握していなかった方は、どのような方法で周知すればよいかご意見をお聞かせください。

問 32 東日本大震災の際に、避難所を設置・運営しましたか。(○は1つ)

1. 設置・運営した  
 2. 設置・運営していない →12 ページの問 35 へ

※問 33 は、問 32 において「1. 設置・運営した」と回答した方におうかがいします。

問 33 避難所運営の際に、男女共同参画の視点を反映した次のような取組が行われていましたか(○は①～⑫についてそれぞれ1つずつ)。「⑫その他」に○をつけた方は、具体的な内容をご記入ください。

	概ね 行った	一部 行った	行わな かった	わから ない
①間仕切りによるプライバシーの確保	1	2	3	4
②女性用更衣室	1	2	3	4
③授乳室	1	2	3	4
④女性専用の物干し場	1	2	3	4
⑤男女別トイレ	1	2	3	4
⑥避難所の運営体制への女性の参画	1	2	3	4
⑦女性用物資(生理用品や下着等)の女性による配布	1	2	3	4
⑧女性のニーズの把握(聞き取り、意見箱等)	1	2	3	4
⑨女性に対する暴力を防ぐための措置	1	2	3	4
⑩女性に対する相談窓口の開設・周知	1	2	3	4
⑪乳幼児のいる家庭用エリアの設定	1	2	3	4
⑫その他(→具体的に: )	1	2	—	—

※問 34 は、問 32 において「1. 設置・運営した」と回答した方におうかがいします。

問 34 避難所の運営に当たって、男女共同参画の視点を反映した取組や何かご意見等がありましたらご自由にお書きください。また、外部の専門家（コンサルタント等）や関係団体（大学、企業、NPO等）と連携して実施した取組がありましたら、その詳細もご記入ください。

〔記入例〕

「男女共同参画センターの職員がコーディネーターとなり、地元の女性団体のグループがボランティアとして、避難所の女性専用スペースを運営した」「避難所内で女性リーダー会議を実施し、女性のニーズを反映させた」など。

問 35 東日本大震災による避難者の数について、男女別データを把握し、公表していますか。  
（○は1つ）

1. 男女別データを把握し、公表している
2. 男女別データを把握しているが、公表していない
3. 男女別データを把握していない

## V. 男女共同参画の推進体制について

問 36 貴自治体では、首長等の幹部をトップとした男女共同参画の推進体制を整備していますか（市男女共同参画推進本部等）。（○は1つ）

1. 整備している（→名称： \_\_\_\_\_ ）
2. 整備していない

問 37 貴自治体における男女共同参画担当部署の職員体制について記載してください。  
（平成 24 年 10 月 1 日時点）

部局名			
課室名			
職員数【常勤】（※）	人（男性	人、女性	人）
職員数【非常勤】	実人数	人（男性	人、女性
	常勤換算	人	

（※）課室長含む（部局長除く）

問 38 貴自治体では、東日本大震災以前に、「女性と防災」や「防災における男女共同参画」に関する取組（勉強会、広報誌での啓発等）を行ったことがありますか。（○は1つ）

1. 行ったことがある（→具体的に： \_\_\_\_\_ ）
2. 行ったことはない

問 39 貴自治体では、東日本大震災以後に、次のようなことを実施しましたか。もしくは今後実施する予定ですか（〇はいくつでも）。「⑥その他」に〇をつけた方は、具体的な内容をご記入ください。

	実施した	実施する 予定
①男女共同参画の視点からの防災・復興に関する勉強会の開催	1	1
②男女共同参画の視点からの防災・復興に関する広報・啓発	2	2
③被災者の状況について男女別データを収集・分析	3	3
④記録集（手記等）において証言者の男女比率に配慮するよう要請	4	4
⑤女性団体等が取りまとめた記録集（手記等）を収集	5	5
⑥その他（→具体的に： _____）	6	6

問 40 貴自治体の男女共同参画担当部署として、防災・復興における男女共同参画の推進に当たって、今後の課題だと認識しているものは何ですか。（〇はいくつでも。（ ）内については、具体的な内容をご記入ください。）

1. 地方防災会議への女性の参画の拡大 2. 地域防災計画の内容の見直し 3. 避難所運営マニュアルの策定もしくは見直し 4. 男女別ニーズに配慮した備蓄物資の見直し 5. 男女共同参画計画の内容の見直し 6. 男女共同参画の視点からの復興施策の推進 7. 庁内の男女共同参画の推進体制の強化 8. 防災・復興における男女共同参画推進のための予算の確保、拡充 9. 男女共同参画に係る人材の育成（研修、防災訓練等） 10. その他（→具体的に： _____） 11. 特になし
--

問 41 防災・復興における男女共同参画の推進に当たって、東日本大震災の経験から学んだことや、今後必要だと考える取組等があれば、お聞かせください。また、その他、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

